

講演 「高等教育の現状と課題－高大接続を中心に－」

【講師 安西 祐一郎 氏】

【略歴】

昭和 49(1974)年 慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程修了

昭和 60(1985)年 北海道大学文学部・同大学院文学研究科助教授

昭和 63(1988)年～平成 23(2011)年

慶應義塾大学理工学部・同大学院理工学研究科教授

平成 5(1993)年～平成 13(2001)年

慶應義塾大学理工学部長・大学院理工学研究科委員長

平成 13(2001)年～平成 21(2009)年 慶應義塾長

平成 23(2011)年～現在 独立行政法人日本学術振興会理事長

その間、カーネギーメロン大学コンピュータ科学科・心理学科博士研究員、同大学人文社会科学部客員助教授、マギル大学医学教育センター客員教授。

中央教育審議会会長、社団法人日本私立大学連盟会長、環太平洋大学協会 (Association of Pacific Rim Universities; APRU)会長、社団法人情報処理学会会長、日本認知科学会会長、日本学術会議会員等を歴任。

専門は認知科学・情報科学。

【著書等】

『心と脳』（岩波新書）、『認識と学習』（岩波書店）、『問題解決の心理学』（中公新書）
『コミュニケーションの認知科学』全 5 巻（共編）（岩波書店）、『認知科学の新展開』
全 4 巻（共編）（岩波書店）、『「デジタル脳」が日本を救う』（講談社）、『教育が日本を
ひらく』（慶應義塾大学出版会）ほか。

講演 「高等教育のグローバル化の方向性」

【講師 二宮 皓 氏】

【略歴】

昭和 20(1945)年鳥取県生まれ。広島大学教育学部卒業、広島大学大学院教育学研究科修士課程修了。その間フルブライト留学（米国コネチカット大学）。文部省調査課、広島大学教育学部講師・助教授・教授、イリノイ大学客員研究員などを経て、広島大学理事・副学長，放送大学理事・副学長をつとめ、平成 25(2013)年 4 月より比治山大学・比治山大学短期大学部学長に就任。広島大学名誉教授。専門は教育学（比較・国際教育学）。

【社会活動歴】

- ・ 文部科学省中央教育審議会大学分科会
大学のグローバル化に関するワーキング・グループ 主査（平成 25 年・平成 26 年）
- ・ 文部科学省中央教育審議会大学分科会教育部会委員（平成 27 年 4 月～）
- ・ 日本学術振興会経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援
プログラム委員会委員
- ・ 日本学術振興会大学の世界展開力強化事業プログラム委員会委員
- ・ UMAP（アジア・太平洋大学間交流機構）委員
- ・ 広島県教育委員会委員

【主な著書・編著書等】

- ・ 『世界の学校—教育制度から日常の学校風景まで』（学事出版）
- ・ 『こんなに厳しい！世界の校則』（メディアファクトリー新書）
- ・ 『こんなに違う！世界の国語教科書』（メディアファクトリー新書）

「平成 26 年度認証評価を経験して」

【パネリスト・ファシリテーター略歴】

◆加茂 佳子（かも よしこ）氏

- ・東京女子体育大学学長
- ・略歴：昭和 41(1966)年 3 月 東京女子体育大学卒業後、同年、同大学助手となり、講師、助教授を経て、昭和 63(1988)年 4 月 同大学教授就任。
この間、昭和 44(1969)年に日本人で初めて新体操世界選手権大会（第 4 回バルナ大会）に出場。
昭和 46(1971)年には、日本人初の新体操国際審判員となる。
昭和 63(1988)年～平成 12(2000)年まで FIG（国際体操連盟）新体操技術委員など、日本の新体操界を黎明期より支える。
平成 22(2010)年 4 月 東京女子体育大学学長就任（現在に至る）。
平成 23(2011)年 5 月～平成 25(2013)年 5 月 学校法人藤村学園 理事長歴任。

◆森島 洋太郎（もりしま ようたろう）氏

- ・福井工業大学学長
- ・略歴：昭和 48(1973)年大阪大学大学院博士課程修了。昭和 50(1975)-昭和 53(1978)年シンガン大学大学院留学。帰国後、大阪大学助手、同講師、助教授を経て平成 7(1995)年教授。昭和 60(1985)-昭和 61(1986)年テキサス大学客員教授。大阪大学理学部化学科長、理学部長、総長補佐を歴任、平成 14(2002)年大阪大学名誉教授。同年福井工業大学教授。平成 16(2004)年福井工業大学副学長。平成 25(2013)年学長。
学協会（高分子学会等）の理事、評議員、各種研究助成金の審査員、評価員等を多数歴任。専門は高分子化学。

◆吉田 修（よしだ おさむ）氏 ※ファシリテーター

- ・愛知産業大学教授
- ・略歴：昭和 51(1976)年 3 月、京都大学文学部哲学科卒業。京都大学大学院文学研究科博士後期課（哲学専攻程）満期退学後、平成元(1989)年 4 月、東海産業短期大学（現・愛知産業大学短期大学）講師に赴任。同大学助教授を経て、平成 16(2004)年 4 月、愛知産業大学経営学部教授。愛知産業大学では、大学等設置準備室長や経営学部総合経営学科長、通信教育部長を歴任。現在、愛知産業大学教養教育センター長と地域共同教育センター長を兼務。（公財）日本高等教育評価機構での評価活動は 10 年を超え、本年度から（公財）日本高等教育評価機構評価員養成検討委員会委員長を務めている。専門は哲学。

以上